

平成 27 年 7 月 6 日

佐賀西信用組合

「佐賀観光活性化ファンド」の設立について

(佐賀県内の全地域金融機関共同での組成)

佐賀西信用組合(理事長 栢森久)、佐賀銀行(頭取 陣内芳博)、佐賀共栄銀行(頭取 二宮洋二)、唐津信用金庫(理事長 松永一博)、佐賀信用金庫(理事長 大坪豊)、伊万里信用金庫(理事長 中山武重)、九州ひぜん信用金庫(理事長 溝上邦治)、佐賀東信用組合(理事長 芹田泉)は、本日、株式会社地域経済活性化支援機構(社長 瀬谷敏雄氏、以下「機構」)との間で、「佐賀観光活性化投資事業有限責任組合第 1 号(佐賀観光活性化ファンド)」を、株式会社佐銀キャピタル&コンサルティング及び REVIC キャピタル株式会社を無限責任組合員として設立しましたのでお知らせいたします。また、同日、全金融機関及び機構と「観光を軸とした地域活性化」推進協定を締結したことをお知らせいたします。

記

1. 設立の目的

参加金融機関は、機構と連携、協力し、本ファンドを通じて、パイロット地域である有田町及び佐賀県全体における「観光まちづくりモデル」※の実現に向けた投融资及び専門家によるハンズオン支援を行う事により、佐賀県における観光を軸とした地域活性化を推進してまいります。

パイロット地域である有田町は、平成 28 年に「有田焼創業 400 年」を迎える世界ブランド「有田焼」の産地であり、周辺には嬉野・武雄・伊万里等の西九州有数の観光地にも近いという立地上の特性も有しております。まずは、本年 4 月に有田商工会議所が設立した「有田まちづくり公社」を主体として、「有田焼と伝統・アートの町～有田～」というまちづくりコンセプトの下、観光資源・街並み整備やイベント等の情報発信を進めて参ります。

本地域において、周辺連携も視野に入れ観光特性を最大限に活かした「観光まちづくりモデル」を実現することで成功要因を抽出し、地域の経済・雇用を支える観光産業の発展を図るべく、本モデルの全県展開を目指して参ります。

※観光まちづくりモデル：観光地に賑わいを持たせるための地域活性化モデル。まちづくりコンセプトやターゲットとなる顧客層を定め、観光資源の掘り起こし、街並み賑わいづくり、目玉となるイベントの企画・実行、地域からの情報を発信し、観光消費額等の増大を図る。

2. 「佐賀観光活性化ファンド」の概要

名称	佐賀観光活性化投資事業有限責任組合第1号
設立時ファンド金額	500百万円
設立日	平成27年7月6日
設立時組合員構成	佐賀西信用組合 (株)佐賀銀行 (株)佐賀共栄銀行 唐津信用金庫 佐賀信用金庫 伊万里信用金庫 九州ひぜん信用金庫 佐賀東信用組合 (株)地域経済活性化支援機構 (株)佐銀キャピタル&コンサルティング REVIC キャピタル(株)
存続期間	7年3ヶ月
業務運営者	(株)佐銀キャピタル&コンサルティング REVIC キャピタル(株)

以上